

実エンドウの新品種 ‘ミナミグリーン’ の育成

池澤和広・*軽部 稔 (鹿児島県農業試験場・*鹿児島県バイオテクノロジー研究所)

Kazuhiro IKEZAWA and Minoru KARUBE : Breeding of the New Variety ‘Minami-green’ of Pea (*Pisum sativum* L.)

鹿児島県における実エンドウは、8月～5月の長期にわたって栽培されている。その中心は無霜地帯における栽培で、12月～5月に収穫する作型である。この無霜地帯で用いられている品種は多収性の‘サツマグリーン’、‘スーパーグリーン’、‘屋久緑’であるが、これら3品種はそれぞれに欠点を持っている。‘サツマグリーン’、‘屋久緑’はやや莢色が淡く、‘スーパーグリーン’は小莢で青実が小さく、ともに低節位の莢の実入りがあまり良くない。また、気象の年次変動に左右されることが多く、低温にあった場合、‘サツマグリーン’、‘屋久緑’は莢のなりくちがくぼみ、‘スーパーグリーン’は霜莢になり易く、品質を著しく低下させる。また、3品種とも開花期前後に葉先枯れ症が発生しやすいという生理的な欠点を併せ持っている。

そこで、1984年から、良質多収で気象の年次変動に左右されにくい、栽培容易な暖地型品種の育成を目標に育種を開始し、当初の目標に近い系統を得たので、その育成経過と特性の概要について紹介する。

1. 育種経過

1985年、鹿児島県農業試験場において鹿児島県で育成中の系統60-2-1 (F₂) を母本、同じく育成中の系統60-2-2 (F₂) を父本として交配試験を行った。F₂、F₃は雑種集団栽培、F₄で個体選抜、さらに系統選抜を行い、F₇ (1987)以降、生産力及びその他の特性について検討した。その結果、1991年有望な系統を得たので‘ミナミグリーン’と命名し、種苗法による品種登録の出願申請を行った。

2. 特性

本品種は早生、半矮性で品質の優れた多収性の青実用

種である。葉はやや大きく濃緑色で、小葉は楕円形で、先端は丸い。托葉は広幅の不正楕円形で、先端は丸く、雲紋がある。莖は太く、節間は短い。分枝型は下位・上位分枝型で分枝数は少ない。初花房節位は17節前後で、花は白色、大きさは中程度であり、花房はほとんど2花性を示す。着莢は極めてよい。

莢は濃緑色で長さは8.5cm程度、幅は1.3～1.5cm程度、重さは8.0g程度である。形状は曲がりはないが、ややそりがみられ、先端はつまっている。表面のしわ及び膨腫の発生はない。莢の子座数はやや多く8～9個で、着粒数は6～7個、着粒は極めて密である。青実は濃緑色で大きく、種皮の裂けもなく、青実歩留まりは高い。

また、耐寒性が強く、低温にあっても‘サツマグリーン’、‘屋久緑’のように莢のなりくちがくぼむことは極めて少ない。たとえ寒害を受けた場合でも、その後の回復が早い。

さらに、葉先枯れ症の発生が軽微であるので、灰色かび病などの病害が発生しにくい。

3. 適応作型

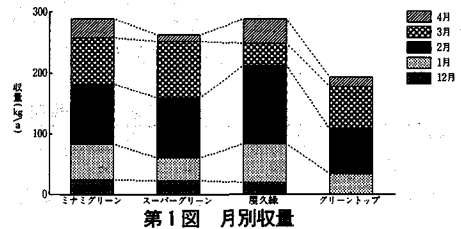
本品種は早生型であり、降霜地帯で栽培した場合、開花期から登熟期にかけて霜害を受ける危険性が高い。霜害を受けた場合、落花、落莢及び枝の心止まりを起こすことがあり、生産上不安定であるので、降霜地帯における露地栽培は避けた方がよい。また、播種期幅は広いので、9月上旬～10月下旬にかけて播種する秋まき冬・春どり作型 (ハウス作型を含む) に適応する。

以上、本品種は品質、収量性ともに優れ、草勢強く、半矮性で栽培が容易であり、無霜地帯における秋まき冬・春どり作型及びハウス作型に適応すると思われる。

第1表 生育・収量調査

品 種 名	草 丈 cm	節 数 節	初花房 着正節位		節間長 cm
			節 数	枝 長 cm	
ミナミグリーン	205.9	44.8	16.9	66.7	4.6
スーパーグリーン	193.6	43.7	11.8	33.2	4.5
屋久緑	201.7	43.8	17.6	71.7	4.6
グリーントップ	201.9	42.9	17.5	66.1	4.7

注) 秋まき冬どり (ハウス) 作型 1990年9月27日播種



第2表 品質調査

品 種 名	莢 長 cm	莢 幅		一莢重 g	一莢の 青実数 粒	むき実 率 %	青実 百粒重 g	莢 色
		タテ mm	ヨコ mm					
ミナミグリーン	8.4	15.0	13.2	8.2	6.6	56.5	70.3	B4～B5
スーパーグリーン	7.3	13.8	12.6	6.5	6.6	52.1	51.2	B5
屋久緑	8.5	15.0	13.5	8.4	6.7	53.1	66.6	B3
グリーントップ	8.1	15.4	12.8	7.2	5.4	49.6	66.5	B3

注) 莢色: B1 (淡) ～B5 (濃) 富士葉色カラースケールBシリーズ (野菜用)